



東京文化会館 舞台芸術創造事業

日本舞踊 × オーケストラ
Vol. 2

平成26年12月13日〔土〕・14日〔日〕

13日 18時30分開演〔17時45分開場〕
14日 15時00分開演〔14時15分開場〕

東京文化会館 大ホール

日本舞踊×オーケストラ Vol. 2

主催：東京文化会館（公益財団法人東京都歴史文化財団）
企画制作協力：公益社団法人日本舞踊協会
協力：宝塚歌劇団、スタジオアークタンツ、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
東京文化会館ザ・イヤー・パートナー：上野精養軒
助成：平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

構成・演出 花柳壽輔

監修：植田紳爾

指揮：園田隆一郎 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

葵の上（源氏物語より）

音楽：黛敏郎「BUGAKU」より第2部、「呪」

振付：藤蔭静枝

出演：市川ぼたん（葵の上）、花柳寿楽（光源氏）、藤間恵都子（六条御息所）、花柳大日翠（巫女）、坂東三信之輔（横川の聖）

葵祭りの仕丁：西川一右、西川大樹、西川扇重郎、西川扇衛仁、花柳克昂、花柳貴柏、花柳九州光、
花柳寿々彦、花柳寿美藏、花柳静久郎、花柳近彦、花柳昌克、花柳昌鳳生、花柳楽人、
藤間仁鳳、藤間豊彦、藤間直三、若柳吉央、若柳吉優亮、若柳三十郎

ライラックガーデン

音楽：ショーソン「詩曲」

振付：五條珠實

出演：藤間蘭黄（男爵）、水木佑歌（男爵夫人）、花柳源九郎（書生）、尾上紫（書生の恋人）

鹿鳴館の女：花柳寿紗保美、花柳時寿京、花柳美喜、花柳美輝風、藤蔭静千華、藤蔭里燕

いざやかぶかん

音楽：ガーシュウィン『ポーギーとベス』組曲より「キャットフィッシュ・ロウ」

振付：若央りさ

振付補：花柳達真

美術：横尾忠則

出演：轟悠（お国ほか）

お国歌舞伎の女：花柳ツル、坂東里子、坂東はつ花、坂東幸奈、藤蔭静寿、藤蔭美湖、藤間爽子、水木扇升

遊女歌舞伎の女：花柳和あやき、花柳喜衛文華、花柳吉史加、花柳貴代人、花柳笹公、

花柳秀衛、花柳せいら、花柳奈卯女、藤間京之助、藤間蘭翔

若衆歌舞伎：吾妻豊太郎、五條珠太郎、西川扇左衛門、花柳登貴太郎、若柳吉優、若柳里次朗

野郎歌舞伎：花柳琴臣、花柳輔蔵、藤間勘護、藤間達也

傾く男：市山松扇、猿若清三郎、花ノ本海、花柳寿太郎、花柳典幸、松風光陽

傾く女：五條詠佳、五條詠絹、五條珠雀、西川申晶、藤間紫乃弥、若柳美香康

パピヨン

音楽：ドビュッシー「夜想曲」

振付：花柳壽輔

衣裳：森英恵

出演：花柳壽輔（保名）、麻実れい（蝶の精）

ボレロ

音楽：ラヴェル「ボレロ」

空間構成・振付：アレッシオ・シルヴェストリン

振付：花柳輔太郎

出演：吉田都

吾妻豊太郎、市山松扇、五條珠太郎、猿若清三郎、西川一右、西川扇左衛門、西川扇重郎、西川扇衛仁、西川大樹、花ノ本海、

花柳克昂、花柳貴柏、花柳九州光、花柳琴臣、花柳寿太郎、花柳輔蔵、花柳寿々彦、花柳寿美藏、花柳静久郎、花柳近彦、

花柳登貴太郎、花柳典幸、花柳昌克、花柳昌鳳生、花柳楽人、藤間勘護、藤間仁鳳、藤間達也、藤間豊彦、藤間直三、松風光陽、

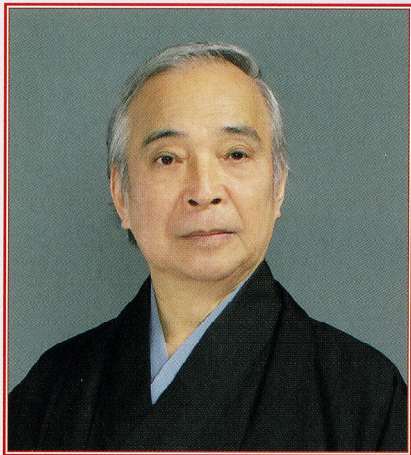
若柳吉央、若柳吉優、若柳吉優亮、若柳里次朗、若柳三十郎

美術：堀尾幸男

照明：沢田祐二

舞台監督：菅原多敢弘

※オーケストラは、オーケストラピットでの演奏となります。



はなやぎじゅすけ
花柳壽輔 構成・演出、出演：バビヨン

花柳流四世家家元。2007年に四世家元壽輔を襲名。二十代で日本舞踊界に登場以降、日本舞踊家としてはもちろん「東宝歌舞伎」などで俳優としても活躍。宝塚歌劇団や商業演劇での振付作品も数え切れない。本公演では演出と構成も担当、傘寿を超えた現在も新しい試みに対する意欲は増すばかりである。流派を超えて後進の指導的立場にあり、名実ともに日本舞踊界を代表する舞踊家である。旭日小綬章受章、国際エミー賞、NHK放送文化賞など受賞多数。日本芸術院会員。東京芸術文化評議会評議員。公益社団法人日本舞踊協会常任理事。

message: 一昨年に引き続き、今回も東京文化会館様のご好意で、その第二弾の公演が実現できます事は、大変嬉しい限りです。思いもかけなかった大仕事に直面し、右往左往した第一回の公演に、大勢のお客様が詰めかけ、私自身も高い評価を頂き、それが今回の公演に繋がったものと思います。この公演に世界のバレエ界の頂点に立たれる吉田都さんが御出演下さり、又宝塚歌劇100周年を記念して元トップスターの麻実れいさん、現役トップスターの轟悠さん、それに美術界でも錚々たる方々の御協力を賜わり、まさに夢の様な舞台を御覧頂けると思います。これを機に一人でも多く日本舞踊の愛好者が増えて頂く事が夢です。今回の公演が成功裡に終わりますよう、皆様の御声援の程をお願い申し上げます。



©政川慎治

よしだ みやこ
吉田 都 ボレロ

東京生まれ。9歳でバレエを習い始める。1983年ローザンヌ国際バレエコンクールでローザンヌ賞受賞。英国ロイヤル・バレエスクールに留学後、84年サドラーズウェルズ・ロイヤル・バレエ団(現バーミンガム・ロイヤル・バレエ団)入団。88年最高位のプリンシパルに昇格。95年英国ロイヤル・バレエ団へプリンシパルとして移籍。2004年ユネスコ平和芸術家。07年紫綬褒章受章、大英帝国勳章(OBE)受章。12年国連UNHCR協会国連難民親善アーティスト。10年6月に英国ロイヤル・バレエ団退団後、フリーのバレリーナとして、ポランティア活動や後進の育成等も含め、幅広く活躍中。

message: この度は、このような素晴らしい公演に出演させて頂く機会を頂戴し、大変光栄に思っております。今回、初めて「ボレロ」を踊らせて頂くことになりましたが、これは私自身にとって大きなチャレンジとなると共に、新たな境地を開くチャンスになると信じております。日本舞踊とバレエが生み出すコラボレーションと、今現在の吉田都が踊る新作を、是非お楽しみ下さい。



あさみ
麻実れい バビヨン

東京都出身。1970年、宝塚歌劇団入団。宝塚男役トップスターとして活躍。退団後は、現代演劇を代表する女優として数々の舞台に出演、幅広い活躍を続けている。2006年の紫綬褒章をはじめ、第35回(01年)紀伊國屋演劇賞個人賞、第24回(01年)日本アカデミー賞優秀助演女優賞、第43回(02年)毎日芸術賞、第54回(04年)芸術選奨文部科学大臣賞、第3、18回(1996年、2011年)読売演劇大賞最優秀女優賞ほか多数受賞。

message: 花柳壽輔先生から素晴らしい機会を頂きました。先生と御一緒の舞台、御迷惑をおかけしてはと考えるのですが、この様な貴重な機会、頂きたくとも頂けるものではございません。この機会を大切に、壽輔先生の大きな胸をお借りして、多くの事を感じそして学び、精一杯舞台を務めさせて頂きたいと願っています。

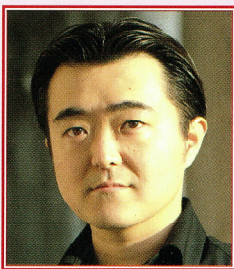


©宝塚歌劇団

とどろきゆう
轟 悠 いざやかぶかん

熊本県出身。1985年宝塚歌劇団入団。「愛あれば命は永遠に」で初舞台。97年「真夜中のゴースト」「レ・シェルバン」で雪組トップスターに就任。2000年、映画で知られる名作『凱旋門』にて文化庁芸術祭賞演劇部門優秀賞を受賞。02年『風と共に去りぬ』レット・バトラー役で菊田一夫演劇賞並びに日本演劇批評家大賞ミュージカル大賞などを受賞。同年専科へ移籍し、翌年、宝塚歌劇団理事に就任する。本年は、1月に宝塚歌劇100周年を記念した月組梅田芸術劇場公演『風と共に去りぬ』において定評あるレット・バトラー役を熱演。7月には星組公演『The Lost Glory』に主演する。

message: この度は「日本舞踊×オーケストラ」公演に出演するという機会をいただきまして、大変光栄に思っております。女性芸能者・歌舞伎の始祖とされるお国の姿「いざやかぶかん」をガーシュウインの曲で。花柳壽輔先生には宝塚歌劇の舞台を数多く手掛けていただいておりますが、今もかわらない宝塚への深い愛情に心から感謝しております。今年100周年を迎えました宝塚歌劇。芸術を愛する者の1人として、日本と世界の芸術の融合を肌で感じ、東京文化会館に立つ喜びと共に今日の舞台をつとめたいと願っております。



園田隆一郎 指揮

東京藝術大学大学院修了後、ローマにてG. ジェルメッティに師事。2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間「トスカ」を指揮してデビュー。07年、藤原歌劇団「ラ・ボエーム」で国内デビュー。ペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバルでは、08年「ランスへの旅」、10年「テーティとベレオの結婚」「デイドーネの死」等を指揮。ポローニャ歌劇場、トリエステ歌劇場をはじめとする国内外の歌劇場や管弦楽団で、オペラと交響曲の両分野で活動している。第16回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。13年7月新国立劇場での地域招聘公演オペラ『三文オペラ』、日本フィル夏休みコンサートを指揮。9月には藤原歌劇団「ラ・トラヴィアータ」を指揮した。



©K. Miura

東京フィルハーモニー交響楽団 管弦楽

1911年創立。2011年、日本のオーケストラとして最初の100周年を迎える。約150名のメンバーをもち、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。常任指揮者はダン・エッティンガー。近年の海外公演でも「世界のファーストクラス・オーケストラ」を印象づけている。
公式ウェブサイト <http://www.tpo.or.jp/> 公式フェイスブック <https://www.facebook.com/TokyoPhilharmonic>

スケールの大きな出会いが、新たな可能性を照らす

遠い太古の昔、音楽、神話、舞踊、祭祀などと呼ばれるものは、分ちがたく混然とそこにあった。以来、生活と労働を超えた次元で、人々はいつも「創造する」ことへの欲求を多様な領域で満たしてきた。過去から現代へ連綿とつづく、輝かしい遺産。日本舞踊、オーケストラ、バレエ、宝塚など、それぞれが培ってきた芸域の個性は、唯一無二のものだ。21世紀の今、東と西の文化が、古典と現代が、ジャンルを超えて出会う。しかも、もっとも磨きのかかったアーティストたちの、スケールの大きな出会いだ。何かがスパークする。そして「創造する」ことへの新たな可能性を照らすはずである。

舞踊評論家 石井達朗

2012年の公演より ©青柳聡



ベトルーシュカ



牧神の午後



ボレロ

異文化同士のぶつかりあいから生まれる摩擦やエネルギーが新しい文化の誕生を促すといわれている。日本舞踊とオーケストラ。この交わることのない壮大な文化が衝撃的にぶつかり合ってどんな新しいものが生まれるのか非常に楽しみでワクワクしている。

宝塚歌劇団も異種交配から生まれて今年で100周年。その記念の年に参加出来ることは非常に意義のあることだ。日本舞踊×オーケストラ×宝塚。まさしく異文化同士。

この未来に向けて生まれた「芸術運動」がますます続いて発展し、どんな文化が21世紀に生まれるのか期待している。

監修 植田紳爾

Vol.1の折には、他ジャンルの私をゲストにお迎え頂き、「ボレロ」で日本舞踊とのコラボレーションをさせて頂きました。それが先例となったのか、今回も多彩なゲストを招いてのコラボレーション。日本舞踊の可能性を目の当たりに見せてくれるこの公演にエールを送りたいと思います。

野村萬斎

6月14日(土) 発売 / 東京文化会館友の会会員 6月7日(土) 先行発売

一般	S席 12,300円	A席 10,300円	B席 8,200円	C席 5,200円	D席 3,200円
東京文化会館友の会	S席 11,300円	A席 9,300円	B席 7,300円	C席 4,600円	—
ハンディキャップ	S席 9,800円	A席 8,200円	B席 6,500円	C席 4,100円	—
25歳以下 ※要証明書	S席 8,600円	A席 7,200円	B席 5,700円	C席 3,600円	—

チケットのお申込み

<p>東京文化会館 チケットサービス 03-5685-0650 www.t-bunka.jp</p> <p>※東京文化会館は平成26年6月から同年11月末まで改修工事休館中のため、電話・WEBのみ受付。</p>	<p>東京芸術劇場 チケットサービス 0570-010-296 www.geigeki.jp</p>	<p>イープラス http://eplus.jp/t-bunka/</p>	<p>ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード: 37058] l-tike.com</p>	<p>チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 437 416] t.pia.jp</p>
---	--	---	---	---

※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※やむを得ない事情により、内容を変更又は中止する場合がございますので予めご了承ください。

※託児サービス (要予約・有料・12月5日(金)17時締切) があります。イベント託児・マザーズ 0120-788-222